



2013-030

平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月11日

上場会社名 株式会社TSIホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3608 URL <http://www.tsi-holdings.com>
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)三宅 正彦
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部副本部長 (氏名)大石 正昭 (TEL)03(5213)5516
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	87,660	△3.2	△1,404	—	53	—	△2,888	—
25年2月期第2四半期	90,534	73.9	△1,076	—	△1,123	—	△2,424	—

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 3,336百万円(—%) 25年2月期第2四半期 △4,334百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年2月期第2四半期	△25	54	—	—
25年2月期第2四半期	△20	94	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	182,105	—	116,094	—	62.8	—
25年2月期	183,905	—	120,287	—	64.3	—

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 114,309百万円 25年2月期 118,301百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年2月期	—	0 00	—	17 50	17 50
26年2月期	—	0 00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	17 50	17 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	180,000	△3.0	1,200	—	3,000	—	△1,500	—	△13	77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期2Q	115,783,293株	25年2月期	115,783,293株
26年2月期2Q	6,869,463株	25年2月期	3,794株
26年2月期2Q	113,084,275株	25年2月期2Q	115,780,084株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	3
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4)	追加情報	4
3.	四半期連結財務諸表	5
(1)	四半期連結貸借対照表	5
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	
	第2四半期連結累計期間	7
	四半期連結包括利益計算書	
	第2四半期連結累計期間	8
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4)	継続企業の前提に関する注記	11
(5)	セグメント情報	11
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年8月31日まで)における我が国経済は、新政権による金融緩和及び経済政策の効果に加え円安による輸出環境の改善もあり、景気は緩やかに回復しつつある一方、中国を中心とするアジア経済の成長ペースの鈍化や円安・原油高に伴う原材料価格上昇の動きもあり、先行きに不透明感の残る状況となりました。

アパレル業界においては、高額商品を主体として一部に売上の回復傾向が見られたものの、消費者の先行き不透明感もあり、回復の動きは緩やかなものとなりました。

このような経営環境を踏まえ当社グループは、平成24年4月に策定した中期経営計画を今年4月に見直し、不採算店舗の閉鎖による収益向上を図ると同時に売上拡大に向けた新ブランドの開発と新規出店を積極的に進めました。

その結果、売上高は876億60百万円(前年同四半期比3.2%減)となりました。

損益面では、営業損失は14億4百万円(前年同四半期は10億76百万円の損失)となり、経常利益は53百万円(前年同四半期は11億23百万円の損失)となりました。

また、固定資産売却益等による18億46百万円の特別利益を計上する一方、固定資産除却損及び投資有価証券売却損等による21億60百万円の特別損失を計上したことなどにより、当社グループの四半期純損失は28億88百万円(前年同四半期は24億24百万円の損失)となりました。

セグメント別の売上の概況は次の通りです。

(東京スタイルグループ)

㈱東京スタイルは、前期より実施している構造改革の総仕上げとして、当第2四半期に新たに不採算5ブランドの廃止、並びに、非効率で低収益な売場約200箇所の閉鎖により販売効率の向上を図るとともに、成長市場であるECチャネルなどの新業態への出店を加速して業績の改善に取り組みました。

一方で「ナノ・ユニバース」や「アプワイザー リッシュェ」などオリジナリティーのあるブランドを有するグループ各社は、Web販売の伸長や新規商業施設への積極的な出店により、引き続き事業基盤の拡大を推し進め、好調を維持しています。また、米国のストリートカジュアルブランド「ステューシー」を販売する㈱ジャックは、ブランディングの再構築を軌道に乗せ、レディース、生活雑貨などの新業態にも取り組み、幅広い顧客を獲得して大きく伸長しています。

その結果、東京スタイルグループの売上高は389億95百万円(前年同四半期は392億54百万円)となりました。

(サンエー・インターナショナルグループ)

㈱サンエー・インターナショナルにおける企画力及び営業力の強化並びに経営のスピードアップを目的として事業組織全体を統括する事業統括セクションを設置する一方、「フリーズマート」を㈱FREE'S INTERNATIONALへ移管することにより事業の集約及び強化を図りました。また、新たに「Happy Sunny Life」をコンセプトに、ハイセンスで上質なCalifornia Boho Styleを提案するライフスタイルセレクトショップ「プラネットブルーワールド」を日本で初めて出店したほか、「パーリーゲイツ」の新業態店舗として「パーリーゲイツ ザ グリーン ゴルフストア!!」をスタートしました。

これらの取り組みにより、サンエー・インターナショナルグループの売上高は486億17百万円(前年同四半期は513億12百万円)となりました。

(その他)

持株会社である当社及び当社グループの生産、物流機能を担う㈱T S I・プロダクション・ネットワークの事業により、売上高は41億17百万円(前年同四半期は43億22百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間末 (平成25年8月31日)	増減
総資産	183,905	182,105	△1,799
負債	63,618	66,011	2,392
純資産	120,287	116,094	△4,192
自己資本比率	64.3%	62.8%	△1.5%
1株当たり純資産	1,021.78円	1,049.54円	27.76円

総資産は、受取手形及び売掛金の増加（前期末比5億58百万円増）、未収入金の増加等による流動資産「その他」の増加（前期末比7億41百万円増）、繰延税金資産の増加等による投資その他の資産「その他」の増加（前期末比7億48百万円増）等があったものの、現金及び預金の減少（前期末比38億51百万円減）、有価証券の減少（前期末比4億42百万円減）等により、17億99百万円の減少となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少（前期末比6億73百万円減）、未払消費税等の減少等による流動負債「その他」の減少（前期末比15億0百万円減）等があったものの、未払法人税等の増加（前期末比7億55百万円増）、長期借入金の増加（前期末比6億89百万円増）、繰延税金負債の増加等による固定負債「その他」の増加（前期末比29億48百万円増）等により、23億92百万円の増加となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加（前期末比55億94百万円増）等があったものの、利益剰余金の減少（前期末比49億14百万円減）、純資産の控除項目である自己株式の増加（前期末比50億6百万円増）等により、41億92百万円の減少となりました。

以上の結果、1株当たり純資産は、自己株式の取得等により27.76円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年4月12日に発表しました平成26年2月期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成25年10月11日）発表の「通期業績予想の修正のお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ97百万円減少し、経常利益は97百万円増加しております。

(4) 追加情報

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,248	35,397
受取手形及び売掛金	12,937	13,495
有価証券	2,617	2,174
商品及び製品	19,317	18,694
仕掛品	621	1,004
原材料及び貯蔵品	206	234
その他	6,245	6,987
貸倒引当金	△719	△791
流動資産合計	80,475	77,197
固定資産		
有形固定資産	19,999	20,496
無形固定資産		
のれん	3,237	2,749
その他	3,092	3,259
無形固定資産合計	6,330	6,009
投資その他の資産		
投資有価証券	56,056	56,366
その他	21,541	22,290
貸倒引当金	△497	△254
投資その他の資産合計	77,101	78,402
固定資産合計	103,430	104,908
資産合計	183,905	182,105
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,759	19,086
短期借入金	3,983	3,778
1年内返済予定の長期借入金	3,152	3,472
未払法人税等	2,548	3,304
賞与引当金	1,343	1,395
ポイント引当金	416	463
株主優待引当金	17	5
返品調整引当金	319	243
資産除去債務	94	109
その他	10,943	9,443
流動負債合計	42,580	41,302
固定負債		
社債	32	11
長期借入金	9,405	10,095
退職給付引当金	1,464	1,408
役員退職慰労引当金	912	873
資産除去債務	2,279	2,428
その他	6,944	9,892
固定負債合計	21,037	24,708
負債合計	63,618	66,011

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	70,956	70,956
利益剰余金	24,973	20,058
自己株式	△1	△5,008
株主資本合計	110,927	101,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,288	12,883
繰延ヘッジ損益	12	9
為替換算調整勘定	72	409
その他の包括利益累計額合計	7,373	13,302
新株予約権	272	259
少数株主持分	1,713	1,526
純資産合計	120,287	116,094
負債純資産合計	183,905	182,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	90,534	87,660
売上原価	44,235	42,686
売上総利益	46,298	44,974
販売費及び一般管理費	47,374	46,379
営業損失(△)	△1,076	△1,404
営業外収益		
受取利息	254	499
受取配当金	351	315
為替差益	25	181
投資有価証券評価益	—	6
デリバティブ評価益	—	268
その他	332	405
営業外収益合計	964	1,676
営業外費用		
支払利息	128	70
店舗等除却損	57	31
有価証券評価損	315	—
投資有価証券評価損	98	—
デリバティブ評価損	213	—
減価償却費	45	42
その他	152	73
営業外費用合計	1,011	217
経常利益又は経常損失(△)	△1,123	53
特別利益		
固定資産売却益	325	1,257
投資有価証券売却益	48	440
新株予約権戻入益	—	13
その他	20	134
特別利益合計	393	1,846
特別損失		
固定資産除却損	35	573
減損損失	49	250
投資有価証券売却損	8	420
投資有価証券評価損	902	389
関係会社株式売却損	—	318
その他	40	208
特別損失合計	1,036	2,160
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,766	△259
法人税、住民税及び事業税	1,279	3,207
法人税等還付税額	—	△137
法人税等調整額	△833	△595
法人税等合計	446	2,474
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,212	△2,734
少数株主利益	211	153
四半期純損失(△)	△2,424	△2,888

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,212	△2,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,162	5,597
繰延ヘッジ損益	△8	△3
為替換算調整勘定	46	504
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△27
その他の包括利益合計	△2,121	6,071
四半期包括利益	△4,334	3,336
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,551	3,043
少数株主に係る四半期包括利益	217	293

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,766	△259
減価償却費	2,345	2,309
のれん償却額	542	487
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△118	△172
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△22	△10
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3	38
賞与引当金の増減額(△は減少)	△80	52
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△171	△76
ポイント引当金の増減額(△は減少)	22	46
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△15	△12
受取利息及び受取配当金	△606	△815
支払利息	128	70
有価証券評価損益(△は益)	315	—
店舗等除却損	57	31
固定資産売却損益(△は益)	△325	△1,257
固定資産除却損	35	573
減損損失	49	250
投資有価証券売却損益(△は益)	△39	△20
投資有価証券評価損益(△は益)	1,000	383
デリバティブ評価損益(△は益)	213	△268
関係会社株式売却損益(△は益)	—	318
売上債権の増減額(△は増加)	323	△813
たな卸資産の増減額(△は増加)	△960	371
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,700	△489
未払消費税等の増減額(△は減少)	△121	△1,077
新株予約権戻入益	—	△13
その他	△981	△27
小計	△1,877	△379
利息及び配当金の受取額	623	815
利息の支払額	△133	△67
法人税等の支払額	△2,364	△3,087
法人税等の還付額	866	1,153
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,885	△1,566

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 8 月 31 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 8 月 31 日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	239	△16
有価証券の取得による支出	△550	△2,168
有価証券の売却による収入	2,000	1,722
有形固定資産の取得による支出	△3,142	△3,241
有形固定資産の売却による収入	548	2,005
投資有価証券の取得による支出	△13	△602
投資有価証券の売却による収入	3,791	6,778
無形固定資産の取得による支出	△712	△345
敷金及び保証金の差入による支出	△327	△567
敷金及び保証金の回収による収入	480	574
長期前払費用の取得による支出	△128	△129
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による 支出	—	△148
子会社株式の売却による収入	—	353
その他	△179	△258
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,005	3,953
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,464	△214
長期借入れによる収入	—	2,700
長期借入金の返済による支出	△1,567	△1,691
自己株式の取得による支出	△0	△5,007
配当金の支払額	△2,026	△2,026
少数株主への配当金の支払額	△12	△0
その他	△230	△224
財務活動によるキャッシュ・フロー	627	△6,463
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	359
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△247	△3,717
現金及び現金同等物の期首残高	27,497	37,268
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,250	33,550

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	東京スタイ ルグループ	サンエー・ インターナ ショナルグ ループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	39,244	51,290	90,534	—	90,534	—	90,534
セグメント間の 内部売上高又は振替高	10	22	33	4,322	4,355	△4,355	—
計	39,254	51,312	90,567	4,322	94,889	△4,355	90,534
セグメント利益又は損失(△)	△1,505	628	△877	3,773	2,895	△3,972	△1,076

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、持株会社である当社を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,972百万円は、連結会社間の内部取引消去額です。

3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行なっております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「東京スタイルグループ」セグメントにおいて、閉鎖の意思決定をしたブランドに係る店舗等について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において29百万円であります。

また、「サンエー・インターナショナルグループ」セグメントにおいて、退店の意思決定をした店舗及び営業損益が継続してマイナスである店舗について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を店舗等除却損に含めて営業外費用に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において25百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	東京スタイ ルグループ	サンエー・ インターナ ショナルグ ループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	38,958	48,599	87,557	102	87,660	—	87,660
セグメント間の 内部売上高又は振替高	37	17	54	4,015	4,070	△4,070	—
計	38,995	48,617	87,612	4,117	91,730	△4,070	87,660
セグメント利益又は損失(△)	△806	△589	△1,396	2,010	614	△2,018	△1,404

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、持株会社である当社等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,018百万円は、連結会社間の内部取引消去額です。

3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行なっております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

当社グループ全体の生産、物流機能を統合するため、前第3四半期連結会計期間において、(株)サンエー・インターナショナルの連結子会社である(株)サンエー・プロダクション・ネットワークは、当社の直接所有による連結子会社となるとともに、商号を(株)T S I・プロダクション・ネットワークに変更しております。

これにより、当該事業に関するセグメント区分を、「サンエー・インターナショナルグループ」セグメントから「その他」に変更しております。

また、前第2四半期連結累計期間において、当社は「調整額」に含めて表示しておりましたが、前第4四半期連結会計期間より、アパレル事業を支える各種インフラ機能の構築と管理運用事業を、2社の基幹事業会社より当社に集約・専門化したことなどに伴い、当社を報告セグメントに帰属しない事業セグメントとして、「その他」の区分に表示することに変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しており、前第2四半期連結累計期間の「1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「東京スタイルグループ」セグメントにおいて、閉鎖の意思決定をしたブランドに係る店舗等について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において82百万円であります。

また、「サンエー・インターナショナルグループ」セグメントにおいて、閉鎖の意思決定をしたブランドに係る店舗について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において168百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年4月12日及び平成25年7月12日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。これを受け、東京証券取引所における市場買付の方法により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が5,006百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は、5,008百万円となっております。